



大きくなったら・・・

私の娘たちが小学校に入る前の話です。「大きくなったら何になりたい？」と聞いたら、「リンゴ！」と答えました。そこで「人にしようか？」と聞くと、「おばさん！」という返事が返ってきて「・・・」となったことを今でも覚えています。

小学校の入学は私の転勤の関係で、離島の学校でした。そこで、娘たちが言っていたのは「警察官になりたい」「お医者さんになって島のおじいちゃん、おばあちゃんの役に立ちたい」というようなことでした。なんと志の高いことを言うんだらうと親として感心しました。

そして、現在上の子は、大学で経済学を中心に学びながら、アルバイトにも精を出しているようです。幼いころからお絵描きが好きだった下の子は、この春から専門学校でアニメーターの技術を学びに家を出ます。

この先も我が子がどのような道を歩んでいくのか分かりませんが、自分が選んだ道に悔いなく精一杯向き合ってくれればと思っています。

子どもが目指すことは成長とともに変わることもあれば、幼いころから追い続けたことを成就させることもあるでしょう。

しかし、子どもの成長の一瞬一瞬が、その子の未来の糧となって、将来的な今を形作れるようにしてあげるのも大人の役割の一つかなと思っています。

余談ですが、上の子が高校生の時、「教員はどうか」と尋ねたら、「それは、ない」と食い気味に即答されたことも覚えています。(🌊)